

平成 30 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

○維持管理情報のビッグデータ解析による効果的なマネジメントサイクルの確立に関する実証事業（日水コン・積水化学工業・日之出水道機器・下水道管路データバンク・兵庫県・高知県共同研究体）

管路情報の一元管理による効率化について一定の成果が得られ、概ね計画通り進められているが、ビッグデータ解析による管路管理の高度化については分析方法の妥当性や分析結果の検証等の部分に課題が残る。

今後は、本技術の具体的な導入イメージを明確にした上で、管路情報の一元管理による PDCA サイクルの確立、ビッグデータ解析による管路管理の高度化の検証等が必要なことから、平成 31 年度も引き続き研究を実施し、地方自治体が活用できるガイドラインとなるように留意して進めることが望ましい。

以上